

# 山陰中央新報

2018年(平成30年)  
2月9日  
金曜日

発行所  
山陰中央新報社  
〒690-8668  
松江市殿町383  
電話 総合案内  
0852(32)3440

## 大乗仏教はどのように誕生したのか



△渡辺 章悟▽

のようなく回の講義を通して検証する。

第1講

大乗仏教の起源と発展

大乗仏教がどのように成立したのかは、十分に明らかにならない。そこで従来の起源と成立の問題を、最新の学説に基づきながらわかりやすく解説したい。本講座で扱うトピックは①大乗仏教の成立②大乗の特徴③法滅④悟りの智慧の展開⑤授記⑥大乗仏教のアウトライ

大乗仏教などと比較する

と、東南アジアの仏教は、

ブッダと高僧、あるいは仏塔(ストゥーパ)だけが礼拝の対象となっている。一方、中国・日本仏教やチベット仏教などの大乗仏教圏では、多くの菩薩やブッダ

## 起源や特徴、思想を検証

### 最新学説で全体像に迫る

（東洋大学教授、文学博士）

# 文化

にするために、それ以前の部派仏教から、どのように説話が大乗に影響を与えた実際の例を、文献と図像の両面から具体的に検証する。（2）授記とは「面前のブッダが修行者に対し、未来の世において必ず仏となること」を予言し、保証を与えること」であ

が崇拜されている。その違  
いの原因は、インド仏教に  
おけるブッダ観とその世界  
観の変化にある。本講座で  
はそのような、変化を知る  
ために「燃灯仏授記」の説  
話を取り上げる。

（2）燃灯仏授記の物語

燃灯仏授記の物語はジャ

ーラカ（本生話）と呼ばれ

る部派仏教の聖典の中で広

がり、さらにブッダ修行の

原典として多くの大乗經典

に採用され、さまざまな形

でゆく」という悲観的な仏

教史観であり、後代の大乗

仏教にいたって正法・像法

・未法という段階を経てゆ

くという未法思想として広

がってゆく。

法滅思想は、初期仏教の

△正しい教えの衰退（正法

の滅）、あるいは、像法の

発生と正法の隠没」という

教説に起源がある。さらに

かれており、大乗仏教の成

立に不可分な要素として、

その成立に最も有効な手だ

が、初期大乗經典による限

り、しばしば同じ文脈で説

いてとになっている。このよう

な点に視点を当てて、大乗

仏教の概要とその思想の全

体像を理解できるように努

めたい。

渡辺氏による東方学院松江校集中講義が3月16日午後1時半、松江市八束町波入の中村元記念館である。受講料2400円（別途入会金などが必要）。問い合わせは同記念館、電話0852（76）9593。